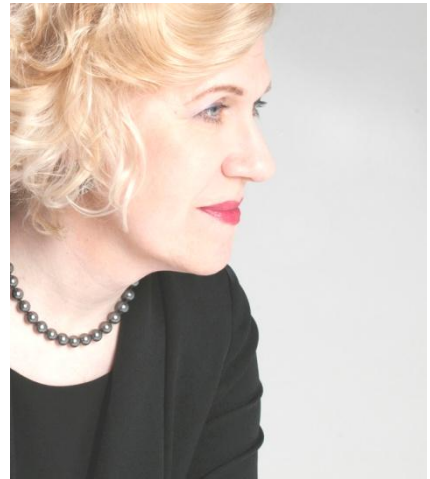


サラ・デイヴィス・ビュクナー

Sara Davis Buechner

際立つ音楽的才能、世界的な芸術感性　そして他の追随を許さない高い先見性を兼ね備えたサラ・デイヴィス・ビュクナーは現代の最も独創的なコンサートピアニストのひとりである。その演奏は ” 知性、誠実さに加え全てにおいて完璧なテクニック” (ニューヨーク タイムズ紙) ” 音楽に貢献する思慮深い芸術家としての手腕” (ワシントン ポスト紙)

“魅了され仰天させられる名人技” (フィリピン スター紙) ” ビュクナーに勝る者はない” (日本インテューン誌) など世界各地のメディアから絶賛を浴びている。



二十代のビュクナーは、エリザベート王妃国際コンクール (ベルギー)、リーズ国際コンクール (イギリス)、モーツァルト国際コンクール、ベートーヴェン国際コンクール (共にオーストリア)、シドニー国際コンクール (オーストラリア) など受賞、そして 1986 年ロシア・モスクワでのチャイコフスキー国際コンクールでは銅メダルを受賞し、1984 年ジーナ・バッカウアー国際ピアノコンクール (アメリカ) では第 1 位ゴールドメダル受賞など 世界で最も権威ある国際コンクールで数多くの受賞歴を持つ。

演奏では、ソロ、室内楽コンチェルトと幅広い活動を繰り広げ、北米 (アメリカ、カナダ) では全ての州と地域で公演実績を持つ。ニューヨーク・フィルハーモニック、サンフランシスコ交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団など数多くの世界の著名オーケストラとの共演のほか、カーネギーホール、ケネディーセンター、ハリウッドボウルなど権威ある会場に度々出演。中南米やヨーロッパ各地でも広くコンサートツアーを行う他、オセアニアではシドニー交響楽団やニュージーランド交響楽団、アジアに於いては新日本フィルハーモニー、広島交響楽団、東京シンフォニア、上海フィル管弦楽団など多数のオーケストラのソリストとして共演。

マンハッタン音楽大学、ニューヨーク大学、ブリティッシュ・コロンビア大学で教鞭をとった後、2016 年よりテンプル大学 (米国ペンシルバニア州フィラデルフィア) 音楽学部教授に就任。世界各地の教育機関でのマスタークラスや講演会、主要な国際ピアノコンクールの審査員として数多く招聘されている他、ドーバー出版インターナショナルの編集顧問も務める。

彼女のウェブサイト saradavisbuechner.com 及び YouTube チャンネルで多数のライブビデオとオーディオの録音を聴くことができる。